



時計台・法経3番



フロンティアの時代はすぎたといわれても、僕らが日ごろ大学で手にし耳にするコンピュータは、興味をそそり可能性を感じさせている。しかし、一週100時間近くも働き、「虫」探しに追われて精神をボロボロにしていくプログラマ、端末機にくぎづけにされ、残業に目をはらす事務員、銀行員、それが僕らの大学の先輩であり、小中高の同輩である。コンピュータ化の現場を全国飛び回ってこられた剣持氏の話は、演出された「光」をくつがえる。しかし、暗い話のみに終らないだろう。大学にもコンピュータ合理化は押しよせている。この企画はマイコン講座とは違う。ラディカル(根底的)に訴えたい。

この企画はマイコン講座とは違う。ラディカル(根底的)に訴えたい。
→数理工学科新歓実共催。連絡先 京大安全センター 075-751-2111 内線 7948

コンピュータを考える会